

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成29年11月27日

施設名	ふくし交流プラザ	所管課	地域福祉部 地域福祉政策課
-----	----------	-----	---------------

1 施設の概要

指定管理者名	(社福)高知県社会福祉協議会	指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日
施設所在地	高知県高知市朝倉戊375-1		
事業内容	<p>1 高知県立ふくし交流プラザの維持管理等業務（施設の維持管理及び貸し出し）</p> <p>2 県民に対する介護講座事業の実施</p> <p>3 福祉用具の調査研究、展示、試用貸出、収集及び保管管理</p> <p>4 ふくし交流プラザふれあいショップの運営</p> <p>5 自主提案事業</p> <p><平成28年度></p> <p>1)シルバー手づくり展開催事業</p> <p>2)障害児支援に係る事業(障がいキッズ&パパママ応援事業)</p> <p>3)障害児・者の職場体験の受入れ</p> <p>4)プラザ企画展</p>		
施設内容	<p>施設名:高知県立ふくし交流プラザ</p> <p>設備:1Fレストラン、2F～5Fに自動販売機設置、駐車場(普通車で209台/無料)完備</p> <p>面積:【土地】7,570㎡ / 【建物】7,965.24㎡(延べ床面積)</p> <p>利用時間:9:00～17:00(ただし、特別に許可された貸室は21:00までとする)</p> <p>休館日:毎月第2日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日・12月29日～1月3日</p> <p>貸室:各室の面積、定員、利用料金は【別紙1】のとおり</p>		
職員体制	常勤職員:3人 非常勤職員:4人 合計:7人		

2 収支の状況

(単位:千円)

		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(予算)
収入	県支出金	61,893	64,704	62,783
	使用料・手数料	12,994	14,309	13,214
	負担金	7,167	6,866	7,961
	その他	5,620	1,136	1,137
	収入計 (a)	87,674	87,015	85,095
支出	事業費	8,688	6,109	6,868
	管理運営費	51,526	50,761	50,772
	人件費	30,312	28,967	27,455
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	90,526	85,837	85,095

3 利用状況

	平成27年度(実績)	平成28年度(実績)	平成29年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	74,509	74,128	75,000
②利用者意見等の反映	○ 貸室利用者アンケート等の実施状況 時期:随時 方法:館内に意見箱を設置し、利用者からの意見を収集。 結果:H28年度は、運営・管理に関する意見等が4件寄せられた。		
	○ 事業参加者アンケート等の実施状況 時期:その都度 方法:アンケート調査による意見収集 結果:講座受講者のニーズを把握し、事業企画に反映している。		
	○ 利用者意見等を踏まえた対策 ・利用者からの意見を関係者で共有し、速やかに改善に向けた取組を実施している。 ・高齢者が主な対象となるイベントに、ステッキ掛けを設置してほしいとの要望に対しては、イベント運営の利便性等を考慮し、既存機の天板下の利用やステッキに取り付けて机に立てかける器具を紹介するなどの対応を行った。 ・施設近くへの駐輪場の整備に対する要望に対しては、駐輪場の案内表示を工夫し、混雑時には誘導員の配置や臨時駐輪場の設置により対応を行った。		
③その他特記事項			

4 平成28年度業務評価

項	目	評価	状況説明
効率的な運営、サービスの向上、施設、設備の管理	適正な管理運営の確保	B	<ul style="list-style-type: none"> ・消防計画及び危機管理マニュアルを整備して定期的な訓練を実施し、緊急時に速やかに対処できる体制を整えている。 ・不点灯又は照度不足の非常用照明が散見されたため、県と調整のうえ修繕を行うとともに、法定点検で判明した不備は速やかに修繕するよう求めた。 ・多目的ホールの机・椅子の設営について、あらかじめ利用者の要望を踏まえ貸室担当者が行うとともに、駐車場の混雑が予想される場合は、シルバー人材センターからの要員派遣により、駐車場の整理を行うなど、利便性の向上に努めている。 ・貸室全体の利用日数は延べ2,012日でH27年度より84日(4.3%)増加し、利用人数は延べ74,128人となっており、H27年度より381人(0.5%)の微減となっている。貸室利用料金は、各研修室の利用増により、使用料収入は14,309千円となっており、H27年度から1,315千円(10.1%)の増となっている。
	利用者サービスの維持向上		
	利用実績		
	収支の状況		

福祉の総合拠点としての情報発信と機能の充実・強化	福祉や介護に関する情報収集及び発信	B	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者疑似体験、車いす体験、テーマ別の介護講座など、高齢者、障害者、介護者への理解及び支援等の講義や演習等を実施し、広く県民に福祉への啓発を行った。
	福祉用具の展示及び管理		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具の相談については、専門有資格者の相談員を配置し、県民への相談助言体制を整えている。福祉用具の利用貸出は739件(1,217点)の実績となり、H27年度より13件の増(33点の減)であった。
	高齢者や障害のある方の社会参加への促進		<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー手づくり展(年2回、約1,400人)を開催し、高齢者の健康・生きがいづくりに寄与した。
	福祉を担う人材の育成		<ul style="list-style-type: none"> ・通常の福祉機器展以外にも、障害のある子ども、家族、その他関係者等を対象とした障がいキッズ&パパママ応援事業等を開催し、制度や最新の支援機器の情報の提供、相談窓口の設置等により、支援者・家族の交流の場づくりを行った。
	関係機関等との連携・協力による、福祉の振興		<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校や障害者就労支援事業所と連携し、障害児・者の就労及び社会参加につながるための職場体験の受入れを行った。

項 目	状 況 説 明
総合評価	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県社会福祉協議会による指定管理は第3期、9年目となり、ノウハウも一定蓄積されるとともに、同協議会の持つ幅広いネットワークを生かした運営が行われている。また、運営に対する利用者からの意見に対して迅速に対応するなど、施設の利便性向上に向けた取組を実施している。 ・非常用照明の不点灯又は照度不足が散見されたため、県と調整のうえ修繕を行うとともに、法定点検の適切な実施、点検で判明した不備の県への報告、速やかな修繕及び施設の計画的な維持修繕の実施を求める。 ・使用料収入については、全国的な大会の開催等により前年度比10.1%の増加となり、評価に値する。 ・今後も引き続き潜在的な利用者ニーズの把握や利用者の満足度の向上を図るとともに、「福祉の総合拠点」として相談機能の充実や福祉サービスの質向上に向けた取組の強化が必要である。

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの